



ネイチャーセンターだより

2015年2.3月号

いきもの図鑑



シロハヤブサ (ハヤブサ科)

学名 *Falco rusticolus* 【田舎に住むハヤブサ】
英名 Gyrfalcon

たまに冬の根室に渡ってくる、最も大きなハヤブサの仲間。名前のお通り全身が白っぽくなる淡色型のほか、背面が暗灰色に白い横斑がある中間型、もっと灰色味が強い暗色型などいろいろなタイプがいる。原野などでネズミや鳥を捕って食べるため、見晴らしのよい杭の上にとまっていることも。

明治公園付近など市街地の上空を飛んでいるのを発見されることもある。白っぽい鳥を見つけたらよく見てみよう。

【2月】

今シーズンはプラス気温の日が続いているためなかなか風蓮湖の結氷がすすんでいきませんが、オオワシ、オジロワシの数は増えてきています。2月は最もワシ類が多くなる時期です。ユキホオジロやツメナガホオジロ、ベニヒワ、ハギマシコなど冬の小鳥やコミミズクなども飛来する時期です。



2、3月の見どころ



【3月】

少しずつ寒さが緩み風蓮湖の氷がとけ始めます。水面が現れた場所にはオオハクチョウやタンチョウが戻ってきはじめます。雪の間からフキノトウが顔を出し、フクジュソウが日の光を受けて黄色く輝く花を咲かせ、春の訪れを告げてくれます。

見どころMAP

クロガモやビロードキンクロなどの海ガモのなかまがエサをとっています。

エゾシカがどんどん第一砂丘の草原に集まってきました。

エゾリスやキタキツネ、エゾシカなど森の動物たちに出会えるかも！日当たりにいい場所でフクジュソウが咲いていることも。



木道が破損したため通行禁止となっています。海岸沿いの作業道をご利用ください。

オオアカゲラやアカゲラ、ハシブトガラ、ゴジュウカラ、ミヤマカケスなどが見られます。

3月、オオハクチョウやヒシクイ、淡水ガモの仲間が渡ってきます。

3月、タンチョウが釧路方面から戻ってきます。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)

- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

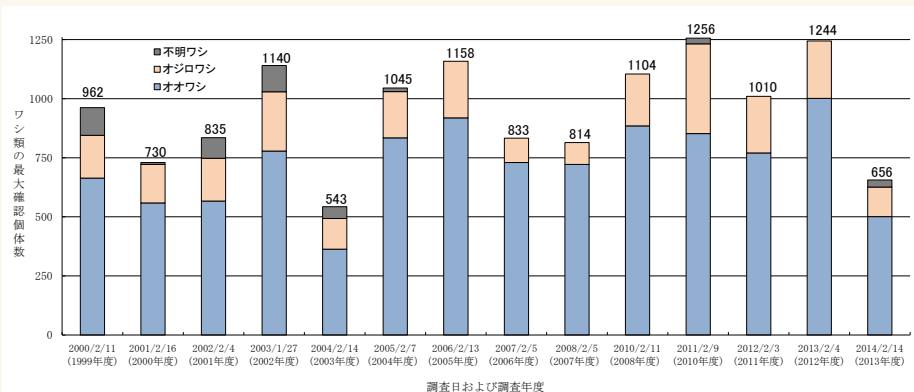
⊗ 通行止め

風蓮湖・春国岱のオオワシ

冬の王者オオワシのシーズンがやってきました。温根沼、風蓮湖、春国岱における過去14年間のオオワシの最大確認個体数は平均725羽と、北海道の越冬数、推定2,000羽の3割以上を占めています。ただし、飛来数は年によって変動があり昨年度は501羽と過去2番目に少ない数となりました。

冬にたくさん見られるワシたちですが、オオワシの繁殖地であるサハリン北部では、開発や山火事による生息地の減少、ヒグマによるヒナの捕食や巣の破壊などにより個体数が徐々に減少する傾向にあります。越冬地である北海道でも、猟で使われる鉛弾による鉛中毒がまだあったり、交通事故や感電事故、風車へのバードストライクなどワシたちの生息を脅かす要因はたくさんあります。

これから飛来のピークを迎えるワシたちが安心して暮らし、繁殖地に戻りけることを祈りつつ、今シーズンも飛来状況を確認する調査を1月下旬から2月中旬にかけて行う予定です。



高波の被害

昨年12月17、18日の暴風・高潮により、春国岱の木道が大きな被害を受けました。写真左上は通常干潮時の春国岱木道入り口付近の様子です。写真右下は18日の高潮時の様子です。木道が一部流されてしまうほどの被害がありました。これにより現在春国岱のヒバリ、アカエゾマツ、キタキツネコースの木道が利用できなくなっています。ヒバリコースの海側の第一砂丘にある作業道はご利用いただけますが、満潮の強風の際には波が高くなる

ることがありますのでご注意ください。お願いします。



木道の補修につきましては、決まり次第お知らせいたします。ご迷惑をおかけしますが、よろしく願いいたします。

”ねむろバードランド フェスティバル”を開催します！

(開催日：2月13日～15日)

◇ プログラム ◇

★『おまかせガイドツアー』 2月14日、15日

根室半島全域で野鳥に精通したメインガイドと地元で精通したサブガイドが鳥のいるところまでご案内。

申し込み締め切り期限：1月31日まで

★『野鳥保護のタベ』～シマフクロウ講演会～

2月13日 17:45～ 春国岱ネイチャーセンター
シマフクロウの生態や抱えている問題点など渡辺獣医師による講演や、飼育下のシマフクロウの観察など、道東の希少大型猛禽類やその保護について紹介。

★『野鳥観光のタベ』 2月14日 18:00～

★ねむろの野鳥イラストコンテスト

※作品展 2月13日～3月1日

※表彰式 2月14日 17:40～

その他にもブースやミニ観察会なども開催します！詳しいプログラムは、根室市観光協会のHPをご覧ください。

<http://www.nemuro-kankou.com/events/birdfes.html>

春国岱クイズ

先月号の答え…B

ふゆ 冬になると風蓮湖にたくさんのアザラシが集まってき
あつ
ます。1月に沿岸の氷の上で休んでいるのが見られること
み
も！風蓮湖周辺で、よく見られるのは、「ゴマフアザラシ」
み
です。さて、ゴマフアザラシの写眞は、AとBどちらでし
しゃしん
ょうか？

(A, Bから答えを選んでください)

なまえは、

ゴマのようにこまかい
もようをしていること
からついたよ！

※もう1つは、ゼニガ
タアザラシの写眞！



イベント情報！

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは春国岱ネイチャーセンターへ
電話（0153-25-3047）もしくは直接のご連絡をお願いいたします。



開催日時	行事名・内容	参加費	お申し込み方法など
2月1日（日） 8：00～11：00	ワシワシウォッチング 越冬のために風蓮湖、春国岱へやってくる海ワシのオオワシ、オジロワシを観察！ ※風蓮湖の氷の張り具合で、観察場所、内容を変更することがあります。	100円 （保険料代）	定員20名（先着） 1/29までにお申し込みください ※小学生以上（小学生は保護者同伴） ※集合：ネイチャーセンター ※市役所駐車場から送迎バス有 ※野外で活動できる暖かい服装、あれば双眼鏡
3月8日（日） 13：00～14：15	フィールド講座②（仮題） 絶滅危惧種コクガンがすむ風蓮湖 風蓮湖の湖底に広がる広大なアマモ場を利用するコクガンについて道東コクガンネットワークの藤井 薫先生（啓雲中学校）からお話をうかがいます。	無料	定員20名（先着） 3/6までにお申し込みください ※一般 ※会場：ネイチャーセンター

ボランティアさん募集中！

春国岱ネイチャーセンターでは、個人参加のフィールドボランティアが活動をしています。レンジャーと一緒に自然を調べたり、観察会を開催したり、自主イベントを企画・実施したりなど様々な活動を行っています。いつからでも、経験がなくてもはじめられます。気軽にお問合せください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆会費・保険料（年間）：
フィールドボランティア 300円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆2月休館日：4・12・18・25日

開館時間：9：00～16：30

◆3月休館日：4・11・18・23・25日

開館時間：9：00～16：30

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。

（要事前申込）



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録